

予算特別委員会産業建設分科会会議記録
(当初予算審査)

1. 日 時	平成31年3月5日 9時30分開会 平成31年3月5日16時40分閉会
2. 場 所	議員協議会室
3. 出席議員	大上和則座長、吉田知代副座長、渡辺拓道委員、足立義則委員、 國里修久委員、園田依子委員
9. 会議に付した事件 議案第1号 平成31年度篠山市一般会計予算 議案第6号 平成31年度篠山市農業共済事業会計補正予算	
10. 議事の経過 開会 9:30 大上座長 あいさつ 大上座長 開議宣告	
<p>■日程第1 議案第1号 平成31年度篠山市一般会計補正予算</p> <p>【主な説明】 農業委員会事務局 説明</p> <p>【主な質疑】 大上座長 農業委員関係費に関し、農業委員の視察研修の費用が組まれているが、他市から視察研修に来られることはあるのか。 農業委員会 平成30年度は職員研修も含め4件の視察を受け入れた。 渡辺委員 国では、空き家対策のため農地取得の加減面積を柔軟に対応するという法改正が考えられているが、この動きに対し何か検討されているのか。 農業委員会 国からは加減面積を変更している農業委員会へ照会が来ている段階である。 農業委員会 法改正があれば、研究していきたい。 吉田副座長 農地転用や紛争処理に係る経費は農地パトロールの燃料費に組み込まれているのか。 農業委員会 燃料費は農地パトロール実施時の公用車の燃料費で、紛争処理とは関係はない。 園田議員 歳入に関し、農業新聞維持対策費の内訳を説明されたい。 農業委員会 購読部数に単価を掛けた取扱事務費と、奨励金として100部から149部維持の15千円の定額が交付されている。</p>	

園田議員 どこから交付されるのか。
農業委員会 兵庫県農業会議を通じて交付される。
園田議員 女性農業委員が4名と県下で多く、前向きな取り組みがされていると思う。また、今後女性が主になって農業を担っていくことになると思うが、女性委員を今後も増やしていこうと考えているのか。女性委員の思いはどうか。
農業委員会 県下での女性委員の人数は最多となっている。女性委員からは、今以上に増やしていければとの声も聞いている。地区別に選考するのは難しいが、6つの地域委員会毎に1名程度推薦してもらい、各地域に1名ずつ配置することが望ましいのではと聞いている。

【主な説明】

農都創造部

【主な質疑】

足立委員 特産物振興事業に関し、丹波篠山市場の運営状況を詳しく説明されたい。
農都創造部 2月26日に株式会社 gino 丹波、出荷協議会、仲買人、一般社団法人丹波篠山市場が市長を訪問し、これまでの運営状況を報告された。株式会社 gino 丹波は、市外への農産物の販売方針が出荷協議会に理解を得られないため、市場運営から撤退することを決めた。
足立委員 市場運営を始める前に本委員会でも説明を受けた。市内の安心安全な農産物を都市部に届けることで、市外へ篠山市の農産物をPRしていきたいという計画を聞き予算決定したものである。新しい人材が市場を引き継ぐとしても了承しがたい。
農都創造部 当初の運営方針は、従来の市場機能と都市部への販売機能を兼ね備えたものであり、3月までは株式会社 gino 丹波が業務を担う。都市部への販売機能について、周囲の理解が得られないことから4月1日以降、一般社団法人丹波篠山市場が市場としての基礎を固めていくということで聞いている。事業を引き継ぐとしても、明確な事業計画を提出してもらいたいと伝えている。現在の場所の利用期間は3月末で満了となるため、用地選定を進めていたが、運営相談を事前に受けるなかで、積極的な用地確保がなかなか進められなかった。現在2~3カ所の用地選定を進めており、イベント駐車場としても活用できる篠山木材市場、手狭なことや交差点の問題もあるが竹内工業、大手前駐車場、を候補地として選定を進めている。4月以降、運営を引き継ぎ、市の意向とも合えば、引き続き支援をしていきたい

と考えている。

足立委員 代表者が変わるだけなら了承できるが、運営会社自体が変わるのなら、予算の承認が得られにくいと考える。都市部への販売部門がなくなれば、過去の魚市場と同じ轍を踏むのではないか。

渡辺委員 補助金の支払いはいつか。承認できるまで支払いは待ってもらいたい。

農都創造部 平成 31 年 4 月に概算払いするが、まだ決定はしていない。都市部への販売部門として、アンテナショップ機能を芦屋や神戸で検討されていたが、良い場所が見つからなかったため、見送られた状況にある。林氏からは、株式会社 gino 丹波について、自分自身の手で事業を進めていくと聞いている。

國里委員 米袋のデザインをリニューアルするとの説明であったが、丹波篠山米としての有利販売に繋がるのか。

農都創造部 現在は、兵庫米として県内他産地の米と同等に取り扱われている。米袋において独自性を持つことで、有利な販売が期待できる。

大上座長 山の芋の生産拡大が課題である。初めて山の芋を栽培する人にとっては、種芋の確保に多くの経費が掛かると聞く。種芋に対する支援制度の検討はしているのか。また、芋専業農家の推進はできないか。

農都創造部 種芋支援については、種芋の現物支援を行い収穫できれば返してもらうという制度を検討したこともあった。意見を参考に今後制度を検討したい。芋専業農家の推進は、各農家の畑の土に馴染んで良い芋になるまで時間がかかるという課題があるが、効果的な方法を検討したい。

渡辺委員 集落営農推進事業に関し、集落営農活動補助金として計上している対象事業は何か。

農都創造部 集落営農活動補助金としては、交流促進タイプ、集落営農組織育成タイプ、法人化タイプ、計画策定タイプ、広域連携タイプ、農業農村支援事業交付金がある。

吉田副座長 環境創造型農業推進事業に関し、環境保全型農業直接支払交付金に取り組む対象者は決まっているのか。

農都創造部 平成 31 年度の事業者として、1 法人、7 グループの計 8 団体である。

渡辺委員 新規就農者は環境に配慮した農業に対して 関心が高い。篠山自然派の会を支援するなかで、どのような活動が行われているのか。

農都創造部 篠山自然派の会は、現在構成員が 40 名を超える規模となっており、農業者同士の情報交換の場を作ったり、環境に配慮した農業に関する研修会を開催したりしている。

國里委員 農業一般管理事業に関し、農都創造政策官の役割は何か。

農都創造部 集落営農推進にあたり、まちづくり協議会単位に1名の集落営農推進員を設置し、農都創造政策官が講師となり研修会を4回実施した。また、集落営農組織ガイドの作成も、農都創造政策官に担ってもらっている。

大上座長 特産物普及PR事業に関し、ご当地グルメ推進委員会及び丹波篠山食の未来塾活動はどのような活動状況か。

農都創造部 ご当地グルメ推進委員会は、篠山まるごと井の食材と丹波焼の器による取り組みが進められている。また、丹波篠山食の未来塾は、丹波篠山味まつりなどに出展し、篠山の食をPRすることなどに取り組まれている。

大上座長 ご当地グルメ推進委員会や丹波篠山食の未来塾などで6次産業化の取組は行われているのか。

農都創造部 6次産業化は、生産者が加工、販売まで行うこととなる。ご当地グルメ推進委員会や丹波篠山食の未来塾は、個人農業者等の集まりで、1農業者が6次産業化に取り組むまでには至っていない。6次産業化に向けて、小さなことから取り組まれている団体である。また、大規模農家等が6次産業化に取り組むときは、有利な国の支援制度を活用しながら事業に取り組まれるよう推進している。

渡辺委員 担い手支援事業に関し、頑張る農業者ホームページ更新計画の状況は。

農都創造部 現在、5人の農業者を紹介している。平成31年度はさらに5人程度の追加掲載を計画している。

渡辺委員 事業費に見合う取り組みを期待する。

園田委員 農地保全推進事業に関し、農地保全サポート員はどのような人になっているのか。また、その勤務体制や役割はどうか。

農都創造部 1名は元市職員で、1名は女性で、週4日の勤務体制となっている。農地保全サポート員の役割は、農地所有者からの相談に対して担い手を探したり、貸借が行われている農地に関し終期通知を送付するなどを行っている。

■日程第2 議案第6号 平成31年度篠山市農業共済事業会計予算

【主な説明】

農都創造部

【主な質疑】

國里委員 農作物共済に関し、水稻共済が任意加入となれば、加入者減の可能性がある。加入促進に向けた推進方策は。

農都創造部 加入推進策としては、集落単位の加入状況によって加入奨励金を農会に交付することとしている。奨励金の交付基準は、事業推進実施割として農

会ごとに1,000円、引受実績割として、加入者率90%以上の農会に対して引受面積に10aあたり150円を乗じた額、70%以上90%未満で10aあたり100円、50%以上70%未満で10aあたり50円となっている。なお、各戸へパンフレットを配布するなど、農政協力員と連携して取り組みを進めたい。

■日程第1 議案第1号 平成31年度篠山市一般会計補正予算

【主な説明】

農都創造部

【主な質疑】

渡辺委員 鳥獣被害対策事業に関し、猟友会から一人を雇い入れるとしているが、その役割は。

農都創造部 平成29年度から猟友会の70名を非常勤の公務員として雇い入れ、課長の指示により有害鳥獣の捕獲を実施している。平成31年度からは、課長からの指示が隊員に伝わりやすいよう猟友会から一人を雇い入れ、密な連携を図る。

渡辺委員 勤務形態はどのようになるか。

農都創造部 週1回、半日の勤務を予定している。

吉田副座長 地籍調査事業に関し、県としても力を入れていく方針を示している。市内の取り組み状況と、今後の計画は。

農都創造部 現在の市の現状としては、地籍調査は通常3年から4年で完了するもので、現在大山地内の高倉地区にて実施している。今年が1年目であり現在調査のための基準点測量を実施し、調査箇所を法務局調査を行っている。2年目にあたる来年度は、調査箇所の境界確認における地権者及び隣接者の立会、その後、立会に基づき測量を実施する予定である。3年目は、測量結果を閲覧し調査結果を法務局へ送付する予定としている。今後の調査箇所の展開は、山の地権者として土地に対する意識が高いと考えられる箇所とし、平成24年度から森林組合が事業主体で実施している森林境界明確化事業の実施箇所を行うのか、森林の施業計画を樹立している箇所を行うのか、また、過疎が進み山の境界について今後放置していると将来境界が更に解らなくなる可能性が高い箇所を行うのか、現時点では何も決定していない。

國里委員 鳥獣被害防護事業に関し、サル用電気柵が普及し、これまで被害のなかった地域に群れが移動している。計上の予算で新規も含めて要望箇所すべてに対応しきれぬのか。

農都創造部 過去2回にわたって100kmを整備し、事業はいったん終了したが、依然として被害がある。電気柵の整備地域から群れが移動しているため、未整備の地域との不公平が生じている。地域の意見としては、平成30年度は設置しないという声が多く、潜在的にもそれほど要望はないのではないかと見込んでいる。サルも農地に出てくるものばかりではなく、被害が落ち着くまでもう少しではないかと考えている。また、地域おこし協力隊の新田隊員が畑地区で行っている活動のように、地域をあげて追い払いを実施している例もある。

森本議長 サル用電気柵について、過去の2期で補助対象となった集落は来期は対象外となるのか。新規を優先するのか。

農都創造部 希望集落の全容はつかめていないが、新規を優先することになると考える。追加の場合は、2分の1負担をお願いしている。

國里委員 新エネルギー・省エネルギー事業費に関し、山の芋グリーンカーテンのウイルスフリー種の生産はどうなっているのか。

農都創造部 現在、山の芋グリーンカーテン用の種芋としては、過去に篠山東雲高校で開発されたウイルスフリー種由来のものを使用しているが、世代が経過しており、葉が小さくなるなど、日差しを遮る効果が少なくなっているといわれている。篠山東雲高校と今後の対応を協議し、平成31年度に市からウイルスフリー種の生産に必要な資材を提供し、種芋の育成に取り組んでもらう予定である。関連予算としては、育苗ハウス資材及びその他資材の原材料費として160千円を計上している。平成31年度は種芋の育成のみになるが、将来的にはウイルスフリー種で、市が関与せずに一般家庭等で山の芋グリーンカーテンが普及するよう取り組みたい。

森本議長 ペレットボイラの補助金について、導入当初はペレットの地産地消に向けて、地元産ペレットの供給量を増やしていく意向であったが、現在の状況はどうか。

農都創造部 市内ではバイオマス丹波篠山のみがペレットを生産している。ぬくもりの郷利用分について、市内産で賄えない分は、岡山県の真庭市産のものを利用している。現在、バイオマス丹波篠山のペレット製造機の機能が低下してきており、事業者に対して機器の更新の計画を立てるよう依頼している。現在より大規模に事業展開していくためには多額の費用が必要であり、市の補助だけでは追いつかないので、国や県の補助を調査するなどしているところである。

渡辺委員 新エネルギー・省エネルギー事業費は今年度の事業評価において内容を検討のうえ、継続との結論を出している。新エネルギー・省エネルギー設

備設置補助金について、内容の検討等に行えているのか。どのようなものについての補助を予定しているのか。

農都創造部 今年度の補助の状況は事前に配布した資料のとおりである。平成31年度は同じ項目について、50千円、70件の補助を見込み、3,500千円を計上している。この補助金の根拠となる新エネルギー・省エネルギービジョンについて、平成31年度中に中間検証を行う予定にしていることから、その結果に基づいて平成32年度以降に改正を考えたい。

渡辺委員 近隣市町の状況も調査して平成31年度にしっかりと検討してほしい。補助項目のひとつバイオマスストーブについて、主にペレットストーブと薪ストーブがあると思うが、市内のペレット供給量が追いついていない現状を見ると、市としては薪ストーブを推奨していくのか。

農都創造部 現在、ペレットストーブの導入はほとんどなく、薪ストーブが主である。森づくりネットワークの二次林部会でも間伐材の薪利用についての提案があり、間伐材と薪ストーブ利用者を結びつける仕組みづくりが必要である。今田においても里山林整備事業を活用し、地域の里山から薪を生産し流通させようとする動きもある。

渡辺委員 薪ストーブの補助は丹波市の方が条件がよい。平成31年度中に検討してもらいたい。

園田委員 環境政策総務費に関し、竹粉碎機貸出関連の69万円の内訳は何か。

農都創造部 竹粉碎機は専門的な機械で事故があってはいけないので、貸出時には操作指導、返却時には整備点検等を事業者へ委託している。これまでの利用状況を考慮し、来年度30回の貸出しがあると想定し、委託料として関連予算69万円を計上している。

園田委員 林業一般管理事業に関し、丹波篠山溪谷の森公園の関連費用の内訳は何か。

農都創造部 池の周りの木製防護柵の改修を予定している。

園田委員 木製での改修を予定しているのか。

農都創造部 擬木を予定している。

森本議長 森林管理100%作戦事業について、市の目標達成状況はどうなっているのか。国の施策が転換された場合、市として単独でも事業を継続するのか。

農都創造部 今年度は325haの間伐を予定し、280haを実施している。計画では20年で3,600haの間伐を目標としている。林業施策の転換があり、平成31年度については林野庁が予算要求をしていない。市では別の補助金や森林環境譲与税を用いるなどして目標とする間伐量の確保に努めたい。

渡辺委員 森林組合が行う事業でも、実際の作業は市外の事業者が請け負うことが

多いと聞く。将来のことを考えると地元林業者の育成が必要ではないか。市で補助金を設けるなど、市内的林業者を応援する施策をお願いしたい。森林環境譲与税についても、間伐に利用するよりも、市内の若手林業者の育成に役立ててほしい。

農都創造部 他市の取り組みも参考にしつつ、若手林業者の育成を進めていきたい。市内でも3~4社で若手林業者が育ってきているので、彼らが中心となって森林整備が進められるように事業執行を工夫していきたい。

渡辺委員 林業においても、農業における認定農家のような制度があってよいのではないかと思っている。市独自の制度になるが、そのような形を目指してほしい。

農都創造部 林業家の育成は森林環境譲与税の目的とするところでもあるので、平成31年度に検討し、平成32年度以降につなげていきたい。

森本議長 森林環境譲与税について、丹波市では東京の区と連携して取り組みを進めると聞いている。篠山市においても都市部と連携するなど検討してはどうか。

農都創造部 森林環境譲与税は、林業者数、森林面積等によるので、都市部にも配分される。都市部の木育等だけでは使いきれない額の配分が見込まれるので、連携を探っていきたい。

【主な説明】

農都創造部

【主な質疑】

園田委員 プレミアム付商品券事業に関し、事業の流れを聞かせてほしい。

農都創造部 今回の商品券は対象者が限定されている。期日を指定して早い者勝ちで販売するのではなく、対象者が非課税世帯の非課税者、3歳未満の子どもがいる世帯主が対象である。5~6月に市県民税の通知が発送されるが、通知が行かない非課税の方々に、プレミアム付商品券の申請を案内する通知を行う。次に7月から申請を受付、要件に該当する方々に商品券引換券を交付する。9月下旬から随時プレミアム付商品券を販売する、という流れになる。2万円で2.5万円の商品券が買え、子どもの分は子どもの数の分だけ購入できることになっている。非課税者であっても市外居住の課税者の扶養に入っていれば対象外となる。そうした審査を随時行っていき、来年の1~2月まで申請可能である。使用も2月頃までと考えている。事務をお世話になりたい商工会と事務レベルで換金方法等を検討しており、窓

口も支所を想定している。また、福祉部局や課税部局との連携も必要なので、庁内での調整会議も予定している。

園田委員 今回は非課税者と子育て世代など、制度が複雑で、難しい対応が必要である。更に、非課税者になると交通弱者の方も多く、そうした方々への配慮も必要である。

農都創造部 提出は申請書の郵送も想定しており、予算化している。ただし、引換券での購入においては、郵送ということもできないので、支所等のきめ細やかな販売体制を検討していきたい。

足立委員 対象者はどの時点で確定するのか。

農都創造部 非課税世帯の非課税者については、31年1月1日現在である。対象者が分かるのは5~6月である。子育て世代については、6月1日現在で住民である方である。ただし、転出入の場合は、申請書や引換券を持って転入先自治体で購入してもらう。全国のスタンダードな形である。

足立委員 9月や10月に誕生した場合は対象外か。

農都創造部 基準日としては6月1日時点である。

(市町振興課 3/5 (火) 19:32 メールで実施要領の改定の情報が入りました。実施要領によると子育て世代について、6/2以降に生まれた者も対象にする、と改定されました。現段階では、9/30までに生まれた者は対象となります。今後、改定される可能性もあります)

足立委員 今回は対象者が決まっている。前回と違ってデリケートな部分もある。多くの人前で並んで購入しにくい。配慮が必要であると思うし、こうした事業だとマイナスなことを言う人もいる。トラブルや問題のないよう注意願いたい。

農都創造部 センシティブ情報を扱うので、庁内での協力体制はもちろん、情報を絶対漏洩しないような体制、きめ細やかな販売体制などをこれから検討していく。

足立委員 観光施設整備事業に関し、ささやま荘が4月から宿泊業務を休止する。遅かれ早かれ飲食業務も廃業せざるを得ないのではないか。その中で、空調交換で5,000千円の投資をするのか。故障していないのであれば、投資を控えるべきではないか。

農都創造部 最低限の設備投資に留めており、空調機も開設以来改修ができていなかった。仮に、他に貸す、あるいは売却する場合に対応できるようにした。最低限の改修、設備投資であるので理解願いたい。

渡辺委員 備品で冷凍ショーケース保管庫と記載があるが、今後は物販に力を入れるのか。4月以降のささやま荘の方針はどのようなことか。

農都創造部 備品については、厨房機器がほとんどである。他は高齢者のお客様用のテーブル・椅子などである。特産を利用した新しいメニューを検討されており、年間を通してぼたん鍋、夏は焼きぼたんになるが、それを提供できるようにする。飲食も含め伸ばしていきたい、という方針である。

渡辺委員 厨房機器ということか。

農都創造部 厨房機器、畳、テーブル、椅子など宴会用の備品である。

農都創造部 ささやま荘の営業の考え方としては、年間を通してぼたん鍋、夏は焼きぼたんを提供していくということと、幕の内弁当など、ケータリングの営業にも力を入れていくので、厨房機器の更新と、利用者として高齢者が多いので、机・椅子を購入する。

渡辺委員 議会としては、2年間の計画、大きな方針は聞かせてもらったが、市としては、計画書で判断したということか。

農都創造部 取締役会での意見、担当の意見を精査した。

渡辺委員 2年と言わず、計画を立てた上で執行いただきたい。また、指定管理施設での修繕料が概算で計上されている。軽微な修繕は指定管理者で修繕しているが、本来、指定管理者が修繕すべき内容も今回計上されているのか。決算まで内容が分からないでは如何なものか。

農都創造部 リスク分担の中で執行しているが、老朽化も進んでおり、緊急に修繕すべきことについて対応するため予算化した。それぞれのリスク分担については、担当から説明する。

農都創造部 大正ロマン館、ささやま荘についてのリスク分担の金額は、10万円である。平成28年3月までは50万円であったが、見直した。

農都創造部 市民センターについては、収益型の施設ではないため、3万円。陶の郷については、見直しをせずに50万円のままである。

農都創造部 渡辺委員にご指摘いただいた件で、お風呂を止めた後の2年間の運営方針、その後の方針として、当面2年間分については委員会にお示しする。

渡辺委員 当然指定管理者が出す分もあるが、当面、市としての考え方を示してほしい。

足立委員 ささやま荘であるが、宿泊を止めても、「荘」という宿泊施設のイメージがある。「ささやま荘」のままなのか。

農都創造部 その点については議論していない。

足立委員 議論した上ならいいが、例えば、宿泊を止めてしまうのだからイメージが悪くなっていくので、名前からスパッと変えて、新たにPRしていく方がよい。「ささやま荘が宿泊を止める」というより、「新しいレストランでがんばるらしい」という方がイメージがよい。「やめる」というより「でき

た」というイメージで、PRに経費をかけてもよい。検討してほしい。

大上委員 観光客誘致促進事業に関し、サイクリングコースのモデルコースは設定していたのか。

農都創造部 10コース設定しており、日本遺産を巡るコース、食を楽しむコースや長距離などを作っている。

大上座長 設定しているコースは英訳か。

農都創造部 そのとおりである。

大上座長 先日、美ら星の山田さんの講演を聞いたが、外国人は定番の観光コースより、例えばカエルが主役になるなど、思わぬところに人気が出る。全てを英訳するのではなく、「ここが篠山の主役や」とか、絵になるところを検討していただきたい。サイクリングイベント事業委託はどこに委託するのか。

農都創造部 自転車愛好家の集団である丹波篠山エコチャリズムプロジェクトに委託していく。今年度も2回15名程度の参加があった。子どもさん対象にするなど切り口を変えたイベント実施をしてもらう。外国の方が何を、どこを求めていくのか、我々には分かりかねるところもあるので、コンシェルジュの意見を聴いて行っていきたい。

渡辺委員 コンシェルジュの謝礼で95万円が計上されている。他の国の方も追加してくということだが、どういう支出方法なのか。コンシェルジュについて、市内に居住する外国人の意見を聴くのか、観光専門家の意見を聴くというスタンスなのか。コンシェルジュの位置づけはどうか。

農都創造部 コンシェルジュの報償であるが、コンシェルジュミーティングを2カ月に1度開催し、半日5千円、1日1万円の謝礼を考えている。年間半日が5回と1日が2回を計画している。それと別に、看板、観光パンフレット等のネイティブチェック、英訳に対する謝礼で40万円を見込んでいます。コンシェルジュの位置づけであるが、英米は2名、仏は市外の方である。全く篠山と関係ない方ではなく、奥さんが陶芸美術館にお勤めで、篠山のことをご存じの方である。そういった方に「外国から見た篠山」についてアドバイスをいただいている。アジア系の方も増やしていくが、お住まいでなくとも篠山のことをご存じの方であれば、入っていただく。

足立委員 旅行プランについて、詳細を知りたい。

農都創造部 旅行企画を旅行社に依頼する際、篠山の広報をしてもらうのに、広告料として1社あたりほぼ50万円で、6社で300万円である。冬にJR大阪駅の中央コンコース等でのデジタルサイネージに情報を流す広告、京阪神のJRの駅でも流すが、それで100万円である。旅行者のパンフレットに

旅行の企画を掲載するのに、10社で100万円である。

足立委員 宣伝しっぱなしなのか、効果検証はどうしているのか。

農都創造部 JRであれば、ぬくもりの郷やユニトピアへの送客実績は分かるので、昨年度に比して何人増加したか、などは把握している。

足立委員 外国語ウェブサイト広告というのはどのようなものか。

農都創造部 外国語ウェブサイトについては、保守についてはマッチャであるが132万円計上している。内容修正にも経費がかかる。外国人の方は写真をもとに観光地を選ぶ傾向にあることから、フォトギャラリーのページやリフティング広告などを打っていく。例えばグーグル検索した時に上位に表示されるようなシステムをつくるのに軽費がかかる。

足立委員 最近、目に見えて外国人が来られているのがわかる。しかし、受け入れる側として、「みんなで外国人の方をお迎えする」という体制が取れていないように見受けられる。好き嫌い関係なく来られるのであるから、紙でコミュニケーションがはかれる道具とか行政が考えないのか。

農都創造部 昨年、コンシェルジュさんにアドバイスをいただきながら、「指差しツール」を作成した。「よく使われる会話」をシート化した。旅館、飲食業、観光などのシートがあり、深くは無理だがコミュニケーションがはかれるツールとして作成し、4月に観光事業者を集めて研修会を実施した。欲しいといわれる事業者の皆さんにも配布している。浸透していないのが現状で、周知をはかっていきたい。

足立委員 受け入れる側も大事である。道やものを訪ねるのに、飲食・物販以外の事業者なら買う必要性がないので、よく来られて訪ねられる。観光事業者以外にも、「地域全体で受け入れる」という気運を高めるために配布されたい。

渡辺委員 コンシェルジュの謝礼であるが、半日5千円、1日1万円とのことだが、専門家として依頼するならもっと払うべきであるし、逆に市民の立場なら、2時間程度で4千円だったと思うが、他の委員報償との整合性も考慮すべきではないか。ネイティブチェックならいいが、皆さん、必ずしも観光のエキスパートではないと思うが、意見を聴くというのならよい。但し、先般、市名の英語表記の「MかNか」の問題で、「コンシェルジュさんの意見を聴いた」と言われた。議会としてもコンシェルジュの意見をどう聴けばいいのか困惑した。

大上座長 観光客おもてなし事業に関し、篠山今田直通バスについては、個人的にあまり賛成ではないが、乗られた方に、「次来てもらおう」仕掛けづくりも必要。例えば、車内座席にパンフレットを配架する、車内でテープを流すと

か、仕掛けも必要である。

農都創造部 従来のプロモーションは、神戸で「来てください」というプロモーションであったが、今後は来られた方にまた来てもらう取組を行っていききたい。

園田委員 おもてなしベンチ設置事業のその後の展開は。

農都創造部 一昨年度、東京大学の堀教授にお越しいただき、ベンチ設置の提案があった。商店街は難しいが、交響ホール横の公園などに設置を検討している。31年度は、福住地区、今田地区で検討していくが、堀先生の意見を聞きながら地域、場所を検討していく。

園田委員 ベンチの材質はどのようなものか。

農都創造部 篠山産材木で検討していく。腐食するという意見もあるが、5～10年で更新していくことを前提としている。また、移動もしやすいので、篠山産木材で実施したい。

園田委員 腐食もしていくし、管理も大変だと思う。擬木も検討されたい。最初は高いが後々を考えれば、材質や設置方法も安定的なものがよい。

農都創造部 意見として聞かせていただく。町並みに擬木が合うのか、堀先生と相談していきたい。

渡辺委員 宿泊施設魅力アップ事業であるが、30年度だけと想っていたが、31年度も計上されている。この種の補助金は、ある程度の期限を設けるべきではないか。ルートインもできることであるし、31年度で終わりなのか、考え方を示してほしい。

農都創造部 宿泊施設の補助事業であるが、3年間を考えている。別に、おもてなしリフォーム補助というものもあるが、3年間でおもてなしの体制を作っていく。ルートインもできるし、3年間限定で市内の宿泊施設の外観の修景や機能を整えていただくということである。

渡辺委員 一部ではなく、市内全体の宿泊施設に配慮を願いたい。

大上座長 観光施設整備事業に関し、こんだ温泉の400万円の第3泉源について詳細を知りたい。

農都創造部 第1泉源は、3回クリーニングしており湯量も70～80%まで回復している。業者からは、第1泉源については、今後はでクリーニングはできないと言われている。ぬくもりの郷から900mあり、第2泉源は700m離れているが、この近くであれば脈がある。また、他に適地があれば検討していく。管が通っているところであれば経費的にも節減できる。

大上座長 第1泉源と第2泉源の成分にはだいぶ差があると言われている。例えば、第1泉源を抜いて作ることはできないのか？調査で泉質も分かるのか。

農都創造部 第2泉源を掘削したときもそうであったが、掘ってみなければ湯量や成

分が分からない。調査はできるが、泉質までは分からない。あと、掘削作業でお湯が濁るため、第1泉源から少なくとも30～50m離さして作業しないといけない。あまり近いと濁ってしまうが、30～50m離すと影響がなくなると言われている。

吉田副座長 観光宣伝事業に関し、大河ドラマにおけるNHK等のその後の動きはどうか。

農都創造部 NHK大河ドラマ麒麟がくる推進協議会では、ストーリー等は非公開であるとのことであった。当初は明智光秀の前半生というように聞いていたが、それも不明である。昨日も推進協議会があり、夏頃からロケハンが場所は不明分であるが下見に入るとの情報が入ってきた。その程度の情報しかなく、NHKのガードは固い。

森本議長 明智光秀を題材にと言い出した張本人であるが、以前、高城山山頂からの眺望をよくしようということに対し、国有林のため伐採できないと言われていた。今回、山頂の整備が計上されているが、国との協議が整ったのか、少なくとも篠山の町並みが見えるようになるのか。

農都創造部 今回は、畑の八百里城と福住の靱井城の整備である。八上城については、文化財課所管になる。

森本議長 連携はどうか。先日丹波の森の夢会議が開かれ、研究しているグループが黒井城から金山に狼煙を上げるイベントを企画されているとのことであった。熱意を込めた発表だったが、少なくとも高城山の整備が必要と考える。商工観光課は、駐車場の整備と看板の設置、トイレの整備であるが、計上されていない。大河ドラマ「麒麟が来る」について、篠山市としてどういう取組をしていくのか。

農都創造部 大河ドラマ「麒麟がくる」については、市長も気にかけているし、観光PRにつながるものと考えている。しかし、八上城に関しては国指定でもあるので文化庁との協議が必要であり、駐車場については検討中である。目途が付けば予算要求していきたい。看板も設置していくので、周辺整備については行っていく。

森本議長 議会報告会で、八上地区の自治会長からも少なくとも山頂からの眺望が確保できるようにしてほしい、との要望があった。何らかの手立てが考えられないのか。議会も国に対して一緒に働きかけていくという方法もある。それとも全く手が出ないのか、共通認識をはかりたい。

農都創造部 教育委員会芦田部長と話をしたが、頂上付近は国有林であるので、林野庁と協議をして過去に伐採した経緯もある。それ以上のことは情報を持ち合わせていないので今、お答えできない。

森本議長 協議は全くしていない、ということか、それとも協議したけど全くダメなのか、どちらか。

農都創造部 文化財課からの情報では、林野庁との協議において、皆伐、全て切るとはダメだが、間伐ならできると言われている。その前段で、林野庁から山頂や国史跡部分を購入してもらえないか、との打診を受けたそうである。ただし、文化財課や管財契約課で試算したところ、手が出ない金額であった。眺望をよくしてほしい、その為に間伐をしたいという協議は続けている。文化財課と商工観光課が別々に要望できないので、市として一本で協議をしている。

森本議長 議会としても汗をかいていきたいので、努力していただきたい。

■議員協議

足立委員 丹波篠山市場への補助金について、認めても良いか。事業主体が代わり、場所も検討中である。用地取得など、新たな事業計画を審査するまで様子を見ても良いのではないか。何もせず賛成はできない。

渡辺委員 出荷する農家のことを考えると、安定して経営できるようにすべき。再度担当部署に来てもらって、当初の申請内容等を調査してはどうか。

園田委員 現在の経営者と生産者との考えの相違があった中味が分からない。なぜ経営者が代わるのか確認が必要である。現経営者の意向を聞いて予算措置をした。当事者から話を聞く場があっても良いのではないか。

足立委員 経営者が交代するという事なので、あとは予算を認めるかどうかである。市としては、安定して出荷できるように1年間補助をしている。新たな土地を取得してから表面化するよりも、一旦ここで予算を切っておいた方が良いのではないか。交代後は別の問題とする方が認めやすい。

渡辺委員 当初の補助金申請や補助要綱などを取り寄せ、改めて調査をしよう。

議案第1号 平成31年度篠山市一般会計予算

議案第6号 平成31年度篠山市農業共済事業会計予算

(部長・市長への確認質問なし)

分科会閉会 16:40

平成31年3月 日

予算特別委員会産業建設分科会
座長